

みなしご通信



扁平上皮癌 サプリと食欲が鍵

白が多い猫が中高年になると扁平上皮癌になりやすく、その病変は主に顔に出ます。この病気に関しては私は歴史が長く、最初に扁平上皮癌の子に出会った時、私はまだ24、5歳だったのでこの病気の猫を積極的に引き取って看取り続けて34年ぐらいです。もちろんその間何もなかったわけではなく、いろんな事を試してきてここ最近とはにかく免疫を上げようと、免疫を上げるサプリを飲ませることに全力を注いでいます。実際その方法で抑えきれている子もいたりします。

現在、扁平上皮癌の子は広島本部に予備軍が3匹、治療中の子が3匹、抑えきれている子が2匹。栃木拠点には治療中の子が1匹、抑えきれている子が2匹います。



扁平上皮癌は耳にできてから頭部や顔面に移動して大きなコブ状の腫瘍を作ります。それが自壊してさらにまたどんどん大きくなって…と成長を止めようがないのが特徴です。たった1日で、すでに病変は形を変えています。成長が早いんですね！そのスピードに負けないようにうちではサプリを飲ませていくのです。

一番ひどい状態の子は耳だけでおさまらず後頭部にゲンコツ大の腫瘍ができていました。わかりますか？耳の後ろの大きな腫瘍。サプリを飲ませて2、3日後頭部のコブ状の腫瘍は小さくなり代わりに自壊がひどくなりました。私の経験上これは好転反応。私はサプリが効いてええ感じになったと思います。後頭部の大きな腫瘍がほぼなくなり、目の上とかの怪しい皮膚はありますがこくゆくのを繰り返しながら抑えていけた経験もあるし、これらも好転反応の表れだと思いうんです。

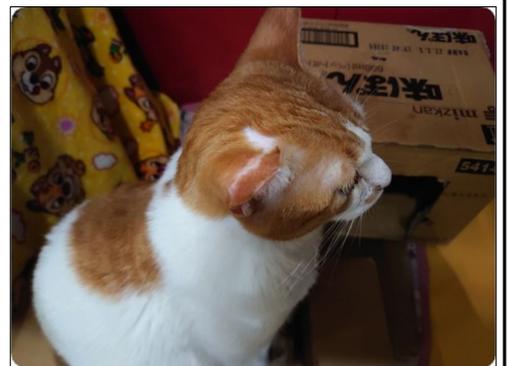
いずれにしても私の立場は「あきらめたら終わる立場」縁起の悪い考えは一切起こさず、いつも自信たっぷりです。強気でないければならないのでね！

扁平上皮癌を一番最初に抑えることに成功した三島さんの話をします。三島さんはうちにずっといた子なのに突然首がグジュグジュになり最初はなんでそんな

になったかわかりませんでした。でもこれは腫瘍だ！と気づいた後も三島さんの食欲はまったく落ちませんでした。免疫向上に努めれば可能性はある…が果てどうやって…インターフェロンが猫に効かないことは前から私は経験済みだったのでサプリに頼ることにしました。

サプリを飲みながらも病変は目まぐるしく変化し私は『もう無理だ』と思い三島さんに「さよなら」を言つて東日本の旅に出たこともあり。なにがなんだか：なぐらい首から上はどんな腫瘍に占領されていききました。目もちよつとしか開かなくなりました。

それでもうちの者はあきらめずサプリを飲ませ続け三島さんも食欲をキープし続けました。やはり「自分で食べる」これはなんの病気に対しても最強の治療法です！自分で食べてさえくられたら私はどんな病魔にも勝てる気がします。ハッキリは忘れましたが三島さん



の腫瘍が落ち着くまでに半年以上かかったと思います。扁平上皮癌騒動から3年が過ぎた今日の三島さん。食欲は今も落ちておらず体重は7kg強になってます(笑)

今でも腫瘍があった右側の耳のあたりは毛が生えてきませんし、今でも腫瘍があった右側だけは目ヤニが出ますがあの姿を見て来た私たちは『じゅうぶんじゃ！』と思っています。

三島さんが根拠のない私の思いつきに付き合ってくれたお蔭で私の扁平上皮癌に対する憎悪も少し和らぎ、明日への道が開けた…と感謝しています。



カラスのりよう

足がないカラスのりようちゃんです。もう何年も胴体だけで生きています。やわらかい毛布に囲まれて生活しているのでクチバシを研ぐ場所もなく伸びてしまふことがあります、それもいつの間にか自然に折れるので問題ないんです♪

こんな感じで端っこにみかん&りんごを置いておくとそれは自分で上手に食べています。胴体だけなので体は少しずつ縮んでいてハトより小さくなりました。

でも、私は足がないからと言つてりようちゃんを安楽死させるつもりは到底ござ

ニンジン天国

んせん。

水口農園さんから立派なニンジンとその破片、米袋などをいただきました。水口農園は化学肥料を一切使わず無農薬な上に原種のニンジンだから鹿&山羊だけでなく化学物質にうるさいニホンザルたちも大喜びで食べます。まずは切り口があると早くダメになるから切れ端ニンジンから先に：その中でも切らなくてもいい太さのニンジンを中心に食べさせます。



とにかく水口農園のニンジンは大人気なんです♪ニンジン葉と新キャベツの下

ハクビシンの友

にニンジンを隠してみましたが、簡単にバレますよね(笑) 動物たちは好きなものから食べる！私もそう、好きなものから食べる。けどヒゲオヤジは違う(笑) 好きなものを残して最後に食べようとする。食べる寸前に心臓が止まったらどうすん？後悔するじゃろ(笑)

山羊たちもみんな底にあるニンジンめがけて掘つてます(笑) たくさんもらつたから毎日、水口ニンジン食べ放題ヒヤッホッ♪

栃木拠点猫庭の隣りにはハクビシンハウスがありまふ。そこには去年東京からきたヴィツキーちゃんと、1週間前に埼玉から来たエルマリンが仲良く暮らしています♪エルマリンが来た翌日、ヴィツキーと顔合わせさせて丸1日様子を見て判断『これならイケる♪』部屋の仕切りをオープンしてみたらエルマリンがヴィツキー宅に行つて、挨拶。ヴィツキーもそれに快く応じまし



た♪

ハクビシンはネコ科の動物なので猫と同じく先住と新入りの個体差&一緒にするタイミングさえ《間違わなければ》お互い認め合つてちゃんと折り合ふのです。※不妊手術は必須ですが上がヴィツキーで下がエルマリン、生まれも育ちもぜんぜん違う2匹ですが、うちに来たら関係ありません。食べて寝て：1歳2歳の女の子同士だから2匹でよく遊んでます。めでたしめでたし♪

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる

かざして募金

JAPAN GIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングIVINGで寄付ができます。
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願ひいたします。